

※実際の出願時には、冊子体の募集要項を入手のうえ必要書類を作成して提出してください。

平成30年度  
第2次  
博士後期課程  
学生募集要項

(社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を含む)

京 都 大 学 大 学 院  
エネルギー科学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL 075-753-9212(直通)

E-mail [energyyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:energyyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

# 目 次

I. 募集人員	1
II. 出願資格	1
III. 出願資格の審査	1
IV. 社会人特別選抜	2
V. 出願	2
i. 出願書類等	2
ii. 募集要項の請求	3
iii. 出願手続	3
VI. 入学者の選抜方法及び試験日程	4
VII. 受験票	4
VIII. 合格者発表	4
IX. 入学手続	4
X. 入学料及び授業料	4
○ その他	4
※受験要領	5
○ 出願書類(様式)	
○ エネルギー科学研究科 分野及び研究内容説明 (平成29年10月1日現在)	
○ 京都大学構内図 (巻末)	

## I. 募集人員 24名

エネルギー社会・環境科学専攻	10名	エネルギー基礎科学専攻	3名	
エネルギー変換科学専攻	4名	エネルギー応用科学専攻	7名	
			計	24名

## II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は平成30年3月末までに該当する見込みの者

1. 修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者
2. 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者（注1）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者（注1）
4. 我が国において、外国の大学の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程（本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。）を修了した者（注1）
5. 国際連合大学（国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項の規定によるものをいう。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 外国の学校等において、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者であって、本学において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（注2）
7. 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）（注2）
8. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者（注2）

注1：出願資格2、3、4により出願する場合は、提出書類等について、**平成29年12月15日（金）**までにエネルギー科学研究科事務室に必ず問い合わせること。

注2：上記6、7、8により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければならない。

## III. 出願資格の審査（出願資格6、7、8による出願希望者）

### i. 出願資格6による出願希望者

出願に先立ち資格審査を行うので、次の書類を、**平成29年11月24日（金）**午後5時までにエネルギー科学研究科事務室（総合研究8号館1階）へ提出すること。

郵送による場合は、封筒の表に「エネルギー科学研究科博士後期課程出願資格認定申請（第2次）」と朱書し、必ず書留便で**平成29年11月24日（金）**午後5時必着のこと。

[出願資格審査提出書類]

1. 出願資格認定申請・調書。所定の用紙。
2. 博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格したことを証明する書類。
3. 博士論文研究基礎力審査に相当する審査の方法及び合格基準を示す資料。
4. 出願者が履修した博士前期に相当する課程の成績を証明する書類。最終出身学校が作成し、厳封したもの。
5. 出願者が履修した博士前期に相当する課程の教育内容を示す書類（科目一覧、科目概要など） ※最終出身学校が作成したシラバスもしくはそれに相当する資料。

1. 必要に応じて書類の追加提出を求められることがある。
2. 資格審査の結果は、**平成30年1月16日（火）**に申請者あて郵送により通知する。

## ii. 出願資格7、8による出願希望者

出願に先立ち資格審査を行うので、次の書類を、**平成29年12月25日(月)**午後5時までにエネルギー科学研究科事務室(総合研究8号館1階)へ提出すること。

郵送による場合は、封筒の表に「エネルギー科学研究科博士後期課程出願資格認定申請(第2次)」と朱書し、必ず書留便で**平成29年12月25日(月)**午後5時必着のこと。

### [出願資格審査提出書類]

1. 出願資格認定申請・調書	所定の用紙
2. 成績証明書(最終学歴)	最終出身学校が作成し、厳封したもの。
3. 業績調書	(出願資格7該当者) 所定の用紙。専攻分野に関する研究業績等について客観的知見等を簡明に記載のこと。
4. 研究従事内容証明書	(出願資格7該当者) 所定の用紙。所属機関等が作成し、厳封したもの。
5. 研究経過報告書	(出願資格8該当者) 専攻分野に関連する研究内容について記載のこと(様式随意)。
6. 資格免許証等	(出願資格8該当者) 専攻分野に関する各種免許証等参考になると思われる書類の写し。

1. 出願資格の認定申請をした者には、書類審査の後、修士課程修了程度の学力について、口頭試問を行う。
2. 口頭試問は、**平成30年1月10日(水)**に本学エネルギー科学研究科において行う。
3. 資格審査の結果は、**平成30年1月16日(火)**に申請者あて郵送により通知する。

## IV. 社会人特別選抜

前記の出願資格を満たし、出願時において官公庁、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の推薦を受けた者を対象に特別選抜を行う。

## V. 出願

### i. 出願書類等

1. 入学願書	所定の用紙
2. 成績証明書及び修了(見込)証明書	本研究科在学学生、出身者及び出願資格6、7、8該当者は不要。
3. 修士論文	本研究科在学学生、出身者及び出願資格6、7、8該当者は不要。修士課程修了見込みの者は、研究報告書(A4判、様式随意)をもって代えることができる。
4. 受験承諾書	他の大学院博士後期課程在学学生、官公庁・会社等の在職者は、所属研究科長又は所属機関の長の承諾書を提出すること。(様式随意)
5. 住民票もしくは在留カードのコピー(外国人留学生のみ)	外国人留学生は、在留資格、在留期間の記載されたものを提出すること。なお、出願時に提出できない者は、パスポートのコピー(顔写真のあるページ)を提出し、入学時までに必ず本証明書を提出すること。
6. 入学検定料振込金受付証明書貼付台紙	<p>所定の用紙(国費留学生及び本学修士課程修了見込み者は不要)</p> <p>入学検定料 30,000円</p> <p>振込期間 <b>平成30年1月15日(月)～1月24日(水)</b> (期限当日の収納印有効・期間外取扱不可)</p> <p>(振込方法)</p> <p>①「京都大学EX決済サービス」から必要事項を入力し、入学検定料を支払うこと。 京都大学EX決済サービス：<a href="https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/ens/">https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/ens/</a></p> <p>②「検定料支払いおよび申込内容の確認」画面から「収納証明書」を印刷し、出願書類と合わせて提出すること。</p>

	<p>※平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。</p> <p>詳しくは、平成30年1月4日（木）までに、エネルギー科学研究科教務掛まで問い合わせてください。</p>
7. 受験票送付用封筒	<p>所定の封筒。受験票をうけとる居所の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、252円分の切手をはること。</p>
8. 連絡受信用シール	<p><b>所定の用紙</b> 平成30年2月～3月の連絡先：郵便番号、住所、氏名を明記のこと。住所変更があった場合は、速やかに届け出ること。</p>

注： いかなる場合においても入学検定料の払い戻しには応じない。

※ 社会人特別選抜枠に出願する者は、上記書類のほか、下記の書類を提出すること。

1. 推薦書	<b>所定の用紙</b> （所属の長又は指導的立場にある者が作成したもの）
2. 研究実績調書	在職中に行った専攻分野に関連する研究実績を記載すること。（様式随意）

## ii. 募集要項の請求

募集要項を郵送により請求する場合には、400円切手を貼付した返信用封筒（角2サイズ24cm×33.2cm）を同封のうえ、志望専攻を明記し、「エネルギー科学研究科博士後期課程（第2次）願書請求」と朱書して出願書類等提出先に請求すること。

## iii. 出願手続

出願者は、出願書類等を下記の出願書類等提出先に提出又は郵送すること。  
 郵送による場合は、封筒の表に「エネルギー科学研究科博士後期課程願書（第2次）」と朱書し、必ず書留便とすること。

### 【出願書類受理期間】

（持参の場合）

平成30年1月24日（水） 受付時間：午前10時から午後5時まで。

（郵送の場合）

必ず書留郵便とし、平成30年1月24日（水）午後5時までに必着のこと。

ただし、平成30年1月21日（日）以前の発信局消印がある 書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。

### 【出願書類等提出先】

（持参の場合）

エネルギー科学研究科事務室（総合研究8号館1階）に持参すること。

（郵送の場合）

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院エネルギー科学研究科  
 TEL 075-753-9212（直通）

## VI. 入学者の選抜方法及び試験日程

入学者の選抜は、次の試験日程により本学エネルギー科学研究科において行う。

### 試験日程（各専攻とも社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を含む）

専攻	月 日	2月7日（水）	
		時 間	試 験 科 目
エネルギー社会・環境科学専攻	10：00～12：00	英語及び専門科目	口頭試問
	13：00～17：00		
エネルギー基礎科学専攻	10：00～12：00	英語及び専門科目	口頭試問
	13：00～17：00		
エネルギー変換科学専攻	10：00～12：00	英語及び専門科目	口頭試問
	13：00～17：00		
エネルギー応用科学専攻	10：00～12：00	英語及び専門科目	口頭試問
	13：00～17：00		

- 受験に関する注意事項は受験票と同時に送付するとともに、平成30年2月6日（火）にエネルギー科学研究科事務室前（総合研究8号館1階）に掲示する。

## VII. 受験票

受験票は提出された所定の封筒により願書受理後1週間程度で郵送する。

## VIII. 合格者発表

平成30年2月15日（木）午後3時

エネルギー科学研究科掲示板に掲示するとともに、エネルギー科学研究科インターネットホームページに掲載する。

「ホームページアドレス：<http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/>」

また、受験者全員に合格受験番号一覧を郵送する（電話等による問い合わせには応じない）。

## IX. 入学手続

合格者の入学手続については、平成30年2月15日（木）に郵送により通知する。

## X. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円（予定）

【国費留学生及び平成30年3月本学大学院修士課程修了者は不要】

\*入学時に改訂されることがある。

授 業 料 年額 535,800円（予定）【国費留学生は不要】

\*入学時に改訂されることがある。

\*在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用される。

## ○ その他

1. 障害等があつて、受験にあたり特別の配慮を必要とする者は、出願に先立ち電話等で申し出ること。
2. 出願手続後は、いかなる事情があつても出願書類記載事項の書き換えはできません。
3. 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金制度等、③入学者の受入準備の目的において、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱います。

## 受験要領

### ○エネルギー社会・環境科学専攻

エネルギー社会・環境科学専攻への出願とその試験方法の詳細は以下の通りである。受験者は、本受験要領に従い書類を整えたとともに、受験に臨むこと。

- I. 当専攻では受験者を、①一般選抜、②社会人特別選抜、③外国人留学生特別選抜の3つの種別に区分している。応募書類、試験方法は受験種別により若干異なるので注意すること。
- II. 博士後期課程を志望する受験者は、出願時までに志望する指導教員の内諾を必ず得ておくこと。
- III. 当専攻を志望する受験者は、研究科共通の出願書類に加え、必要事項を記入した「エネルギー社会・環境科学専攻博士後期課程研究計画書」を出願時に提出すること。

## 試験方法

### 1. 筆記試験「英語、専門科目」について

(1) 試験科目「英語」は、英文和訳および指定されたテーマについての自由英作文が各1問計2問出題される。試験問題は日英両国語により出題されるが、外国人留学生は英文和訳に替えて英文要約とすることもできる。

なお、試験に際し辞書を使用することはできない。

(2) 試験科目「専門科目」は、各分野より各1問が出題される。志望分野の1問について解答のこと。

### 2. 口頭試問について

(1) 受験者は、予め志望する指導教員の内諾を得て、「エネルギー社会・環境科学専攻博士後期課程研究計画書」を作成し、応募書類に添えて提出すること。なお、指導教員の範囲は、別紙「エネルギー科学研究科 教員研究内容説明及び分野」に記載の各分野の教員である。

(2) 口頭試問では、受験者は各自①修士論文またはこれまでに実施してきた研究の成果、次いで②博士後期課程での研究計画を、それぞれ1ページのスライドを用いて計15分間で発表する。その後約15分間、質疑応答を受ける。なお、発表用スライドはPDFファイル（フォント埋め込みのこと、アニメーションの使用は不可）とし、USBメモリにて持参すること。また、受験者は発表用スライド2枚のコピー（両面印刷）を10部、当日持参すること。

### 3. 筆記試験の免除

提出された応募書類を予備審査して、一定の基礎学力があると認められた者に対しては、筆記試験を免除する。

### ○エネルギー基礎科学専攻

1. 募集要項の「専攻別志望分野一覧」および添付資料「教員研究内容説明及び分野」を参照し、別紙「指導教員申告書」に指導教員名を記入し、捺印の上、願書とともに提出すること。

なお、出願時までに志望する指導教員の内諾を得ること。

### 2. 筆記試験について

研究を遂行するために必要な専門分野の基礎学力について筆答問題を出題する。

### 3. 口頭試問について

受験者はプロジェクトを用いて修士論文またはこれまでにやってきた研究と、博士後期課程での研究計画を30分間で発表する。発表スライドのコピーを4部作成し、指導予定教員に事前に提出すること。

#### 4. 筆記試験の免除

提出された応募書類を予備審査して、一定の基礎学力があると認められた者に対しては、筆記試験を免除する。

### ○エネルギー変換科学専攻

#### 1. 提出書類

募集要項の「専攻別志望分野一覧」および添付資料「教員研究内容説明及び分野」を参照して、別紙「指導教員申告書」に必要事項を記入し、捺印の上、出願書類とともに提出すること。

#### 2. 試験方法

##### (1) 英語及び専門科目

英語および志望する専門分野の学力について筆記試験を行う。

##### (2) 口頭試問

これまでの研究内容と博士後期課程進学への動機、進学後の研究計画、見通し等について20分間で発表し、その後発表内容に対する試問を行う。

#### 3. 筆記試験の免除

提出された応募書類を予備審査して、一定の学力があると認められた者に対しては、筆記試験を免除することがある。

#### 4. その他

出願時までには指導予定教員の内諾を得ておくこと。

### ○エネルギー応用科学専攻

#### 1. 提出書類

募集要項の「専攻別志望分野一覧」および添付資料の「教員研究内容説明及び分野」を参照し、別紙「研究指導希望教員の申告表」に記入し、捺印の上、出願書類とともに提出すること。

#### 2. 試験方法

##### (1) 英語及び専門科目

英語および研究を遂行するための専門分野における基礎的学識についての筆記試験を行う。

##### (2) 口頭試問

受験者の過去の研究内容、希望研究テーマの選択の動機と内容の詳細、研究成果の見通し、将来の展望について、パワーポイント等を用いた30分程度の口頭発表を課す。その後、試問を行う。

#### 3. その他

出願時までには指導予定教員の内諾を得ておくこと。



# 専攻別志望分野一覧

## エネルギー社会・環境科学専攻

分野記号	研究分野
S-1	社会システム工学、エコプロセス、環境材料、エネルギー・資源の有効利用と評価、エネルギー・環境教育
S-2	エネルギーシステム学、エネルギー・金属統合資源評価、政策学、持続可能性
S-3	バイオリファイナリー、超臨界流体、熱分解、バイオエタノール、バイオディーゼル、バイオケミカルス
S-4	ヒューマンインタフェース、拡張現実感、情報行動計測、知的生産性評価、環境配慮行動
S-5	大気環境科学、エアロゾル、有害大気汚染物質、環境動態、環境影響評価
S-6	エネルギー政策、原子力エネルギー、エネルギー安全保障、核セキュリティ、核不拡散、ベストミックス
S-7	エネルギー社会教育、災害科学、地震ハザード評価、防災戦略
S-8	コミュニケーション、情報ネットワーク、公共圏、再帰的近代化、リスク社会

## エネルギー基礎科学専攻

分野記号	研究分野
K-1	エネルギー化学、電気化学、フッ素化学、熔融塩、イオン液体、Na二次電池、Li二次電池
K-2	有機分子材料、無機半導体、光化学、固体物理学、光物理学、光電変換素子、発光素子
K-3	無機材料化学、無機固体化学、材料電気化学、二次電池、燃料電池、生体材料学、バイオセラミックス
K-4	プラズマ・核融合理論・シミュレーション、レーザー・物質相互作用、相対論プラズマ、非線形・非平衡物理
K-5	核融合エネルギー、プラズマ理論・シミュレーション解析、プラズマ実験解析、計測診断
K-6	マイクロ波による球状トカマク形成、プラズマ波動物理・平衡・安定性・輸送、プラズマ診断法
K-7	超高温プラズマ閉じ込め・輸送制御、境界プラズマ制御、プラズマ加熱制御、プラズマ給排気制御、プラズマ計測
K-8	ヘリオトロンJ プラズマの閉じ込め、加熱、診断の実験研究、核融合計測機器開発
K-9	電気化学、熔融塩、シリコン太陽電池、二次電池、遺伝子工学、酵素工学、バイオエネルギー
K-10	ナノサイエンス、ナノ材料、合成化学、太陽エネルギー利用、生物物理学理論、液体の統計力学
K-11	バイオエネルギー、太陽光エネルギー利用、ナノバイオテクノロジー、合成化学、タンパク質工学、人工酵素
K-12	バイオマス、バイオエタノール、環境低負荷型、NMR、エイズ、癌
K-13	原子炉物理実験・解析、核エネルギー・核変換工学、放射線利用システム機器開発
K-14	核エネルギー変換、熱流体・混相流理工学、中性子ラジオグラフィ

## エネルギー変換科学専攻

分野記号	研究分野
H-1	熱エネルギー変換、動力工学、内燃機関、環境影響物質制御、代替燃料
H-2	変換システム、熱流体科学、燃焼理工学、レーザー画像計測、数値計算
H-3	材料強度学、疲労、保全科学、多孔質セラミックス、セラミックス被覆材料
H-4	機能材料の力学、非線形連続体力学、弾塑性力学、超音波や電磁場、赤外線画像による非破壊評価
H-5	核融合炉工学、プラズマ工学、エネルギー変換工学、エネルギーシステム設計、社会環境影響評価、材料工学
H-6	プラズマ物理学、高周波工学、加速器物理、高輝度電子ビーム、小型核融合中性子源応用
H-7	環境材料科学、機械構造材料、核融合炉材料、原子力材料、ナノ粒子分散強化合金、計算材料科学

## エネルギー応用科学専攻

分野記号	研究分野
O-1	エネルギー材料、結晶配向プロセス、ナノ組織制御、成膜プロセス、磁気科学プロセス
O-2	超伝導応用エネルギー機器、電力システム工学、超伝導工学、核融合熱工学、低温工学
O-3	材料電気化学、高機能エネルギー材料、機能素材プロセス、太陽電池、燃料電池
O-4	熱化学、環境調和型プロセス、廃棄物有効利用、化学センサー
O-5	省エネ指向材料、マルチスケール材料科学、岩石工学
O-6	計算物理学、加工プロセス、混相流体力学、プロセスシミュレーション、環境調和型材料加工
O-7	資源循環、資源精製、ミネラルプロセス、資源地球化学、海洋資源エネルギー
O-8	光物性、量子ビーム科学、セキュリティ技術、バイオマスエネルギー、再生可能エネルギーシステム・政策評価と実装研究
O-9	光ナノテクノロジー・サイエンス、複合機能性ナノ材料、物性物理、光エネルギー利用、航空・宇宙材料、核融合材料
O-10	レーザー応用、ナノ材料、薄膜、レーザー微細加工、非線形光学、分光計測

【見本】

[平成30年度第2次博士後期課程出願資格審査用]

京都大学大学院エネルギー科学研究科

博士後期課程出願資格認定申請・調書

				認定欄	
				※	
志望専攻名	エネルギー	科学専攻	申請年月日	平成 年 月 日	合・否
ふりがな氏名			生年月日(年齢)	年 月 日 ( 歳)	
現職(所属職名等)					
現住所	〒				
TEL					
年 月	学 歴 (高等学校卒業から記入)				

- (注) 1. 年齢は、申請日現在で記入すること。  
2. この用紙に書き切れない場合は、同様の用紙を付加すること。  
3. ※欄は、記入しないこと。

# 【見本】

[平成30年度第2次博士後期課程出願資格審査用]

## 業 績 調 書

志望専攻名	エネルギー 科学専攻	ふりがな 氏 名	
受付番号	※		
学術論文、著書、特許公報、学協会講演会等での 発表実績を含む実務実績（題名、誌名、発表年月日等を記入）		内 容 の 概 要	

- 注1. 学術論文等は、別刷り又はその写しを貼付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付すること。
2. この用紙に書き切れない場合は、同様の用紙を付加すること。
3. ※欄は、記入しないこと。

# 【見本】

[平成30年度第2次博士後期課程出願資格審査用]

京都大学大学院エネルギー科学研究科長 殿

証明者 所属機関

職 名

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

## 研究従事内容証明書

下記のとおり、研究従事内容について証明します。

ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日	受付 番 号	※この欄は、記入しないでください。
研究従 事期間	年 月 日 ~	年 月 日	従事の態様 (常勤・非常勤・職名等)		
(研究の内容)					
(参考となる事項等)					

# 【見本】

[平成30年度第2次博士後期課程社会人特別選抜用]

京都大学大学院エネルギー科学研究科長 殿

推薦者 所属機関

職 名

氏 名

印

## 推 薦 書

志願者 氏 名		志 望 専 攻 名	エネルギー 科学専攻	受 付 番 号	※この欄は記入しないで下さい。
------------	--	--------------	------------	------------	-----------------

(志願者の学力適性、研究適性、研究業績、研究内容等について記入してください。)

注 直属の部長、課長、室長等の指導的立場にある人に記入してもらうこと。

【見本】

エネルギー社会・環境科学専攻

博士後期課程研究計画書

ふりがな		受験種別	一般選抜
氏名	( 年 月 日生)		社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
現住所	(〒 - ) Tel - -		
略歴	年 月	事 項	
大学卒業(含)以降の学歴、または職歴があれば職歴を記載のこと。			
志望分野名			
指導教員名			

1. これまでの研究状況

修士論文題目	
指導教員	
内容概略 (200 字程度で簡潔に要約して記載のこと。)	
その他 (博士後期課程での研究につながる研究があれば、テーマ名および内容について項目別に簡潔に記載のこと。)	

(裏面も記入のこと)

# 【見本】

## 2. 博士論文研究計画

エネルギー社会・環境科学専攻

研究テーマ	
<p>目的、意義、方法、見通しについて簡潔に記載のこと。</p>	

【見本】

エネルギー基礎科学専攻 博士後期課程

指導教員申告書

指導教員名	
-------	--

上記のように申告します。

平成 年 月 日

大学大学院 研究科

---

専攻 ( 年修了・修了見込)

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 (いずれかを○で囲むこと)

氏 名 印

---

(裏面も記入のこと)



# 【見本】

エネルギー基礎科学専攻

受験者氏名

修士論文あるいはこれまでに行った研究内容概要

博士後期課程における研究計画

研究課題、目的、動機、期待される成果など

【見本】

エネルギー変換科学専攻 博士後期課程

指導教員申告書

平成 年 月 日

(ふりがな)

受験者氏名 \_\_\_\_\_ 印

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 (いずれかを○で囲むこと)

大学大学院 \_\_\_\_\_

研究科 \_\_\_\_\_

専攻 ( \_\_\_\_\_ 年修了・修了見込) \_\_\_\_\_

本専攻に合格した場合、研究指導を希望する本専攻所属の教員の氏名を1名、以下に記入し、  
取り組みたい研究題目とその内容について簡潔に説明してください。

教員の氏名：

研究題目：

研究内容説明：

# 【見本】

## エネルギー応用科学専攻 博士後期課程

### 研究指導希望教員の申告表

本申告表はエネルギー応用科学専攻を志望する諸君のみが記入して下さい。  
願書提出時に提出して下さい。

受験者氏名 \_\_\_\_\_ 印

(ふりがな) \_\_\_\_\_

願書提出後、試験前日までの期間の昼間の電話連絡先：

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

受験者の過去の研究題目：

\_\_\_\_\_

本専攻に合格した場合、研究指導を希望する本専攻所属の教員の氏名を1名、以下に記入し、  
取り組みたい研究課題とその内容について簡潔に説明してください。

教員の氏名：

\_\_\_\_\_

研究題目：

\_\_\_\_\_

研究内容説明：

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_